

月刊糖尿病ライフ『さかえ』を読みましょう！

日本糖尿病協会『さかえ』編集委員 上大類病院・栄養課 堀口 時子

CDEJのみなさんは、(社)日本糖尿病協会が出版している月刊糖尿病ライフ『さかえ』というA4判の雑誌をご存知ですか？所属されている医療機関に『友の会』がある方は、きっと手にしたことがあるはずです。

わたし自身が糖尿病歴15年の1型糖尿病患者です。患者として『さかえ』から学んだ知識を生かして社会貢献したいと考え、現在は管理栄養士として病院に勤務しています。2年前から、『さかえ』の編集委員となり、今回、編集委員の立場で、『さかえ』の広報をさせていただきたいと思います。

編集委員は委員長と合せて全国から21名の委員が選ばれ、年に3回東京に集まって編集会議を持っています。そのほかの日常はメールや郵便で個別に日本糖尿病協会や出版社と連絡を取り、企画や校正の作業に携わっています。編集委員の顔ぶれは、患者、医師、栄養士などで、編集にはずぶの素人です。患者は5名（内4名は医療従事者でもあります）と少ないのが寂しい限りです。

特集記事は最新情報！患者さんだけのものではありません！

糖尿病や合併症・生活習慣病についての最新の医療情報を、患者さんにもわかり易い平易な文章で書くことに、重点を置いています。文字数に制約もありますが、医療用語を極力噛み砕いて説明していますので、皆さんが患者さんにお話するのも便利かと思います。

患者さんの生の声をお届けします！

糖尿病の知識を得るには多くのものがありますが、患者さんの生の体験や心情・知恵がつづられている点は、『さかえ』だけが持つ特徴です。糖尿病があっても元気で生き生きとしている患者さんの笑顔を全国にお届けしたいと思っています。その笑顔が、今糖尿病で悩んでいるもう1人の患者さんを救う力を秘めているのです。また、患者さんにどう関わっていいのか悩んでいる医療スタッフにも、良いヒントを与えてくれるのではないのでしょうか。

患者さんと情報を共有し、友の会活動にかかわって！

日糖協の会員である「友の会」の患者さんは、毎月隔々まで『さかえ』を読んでいるわけで、「『さかえ』にこんなことが書いてあったけど、どういうこと？」などと質問されるかも知れません。

ぜひ、患者さんと情報を共有するためにも『さかえ』をお読みください。また、白衣を脱いで「友の会」の活動に積極的に関わっていただきたいと思います。

『さかえ』を入手するには、お近くの糖尿病「友の会」に入会するのが一番です（会費は各会によって）。近くに会がない場合は、直接日本糖尿病協会に申し込み、本部会員になる方法（年会費3,500円）と、会員にはならず『さかえ』の購読をする方法（年間購読料6,000円（税・送料込））があります。詳しくは日本糖尿病協会のホームページをご覧ください。事務局（TEL：03-3514-1721）にお問い合わせください。

月刊 糖尿病ライフ
さかえ
SAKAE

